

ハイブリットクラウドの 有効活用と実現性を考える

高橋 正裕

ヴィーム・ソフトウェア株式会社
ソリューションアーキテクト

アジェンダ

- ロケーション を考える
- 接続性 を考える
- モビリティ を考える
- クラウド・データ・マネジメント
- Veeamが提供する解



ロケーションを考える

オンプレミス環境の定義

社内にあるシステム環境を定義してみると…

- › 社内のコンピュータールーム
- › データセンターのコロケーション
- › パブリッククラウド



ロケーションが意味するもの

ロケーションへのエコシステムの利用

- › セキュリティ対応としてのローカル保存
- › サービスプロバイダーのマネージドサービスの利用
- › パブリッククラウドのエコシステム
(Hadoop/Machine Learningなど)の利用



全てが1箇所に置いておくことが難しい
適材適所に配置していくのがベター

ロケーションが意味するもの

例： VDIをデータセンターやクラウドに持って行ったとしても
ファイルサーバやよくアクセスするAPサーバが
VDIと別のロケーションにあることが多い

- データの無駄なトリップが発生する
- 帯域の問題が発生する

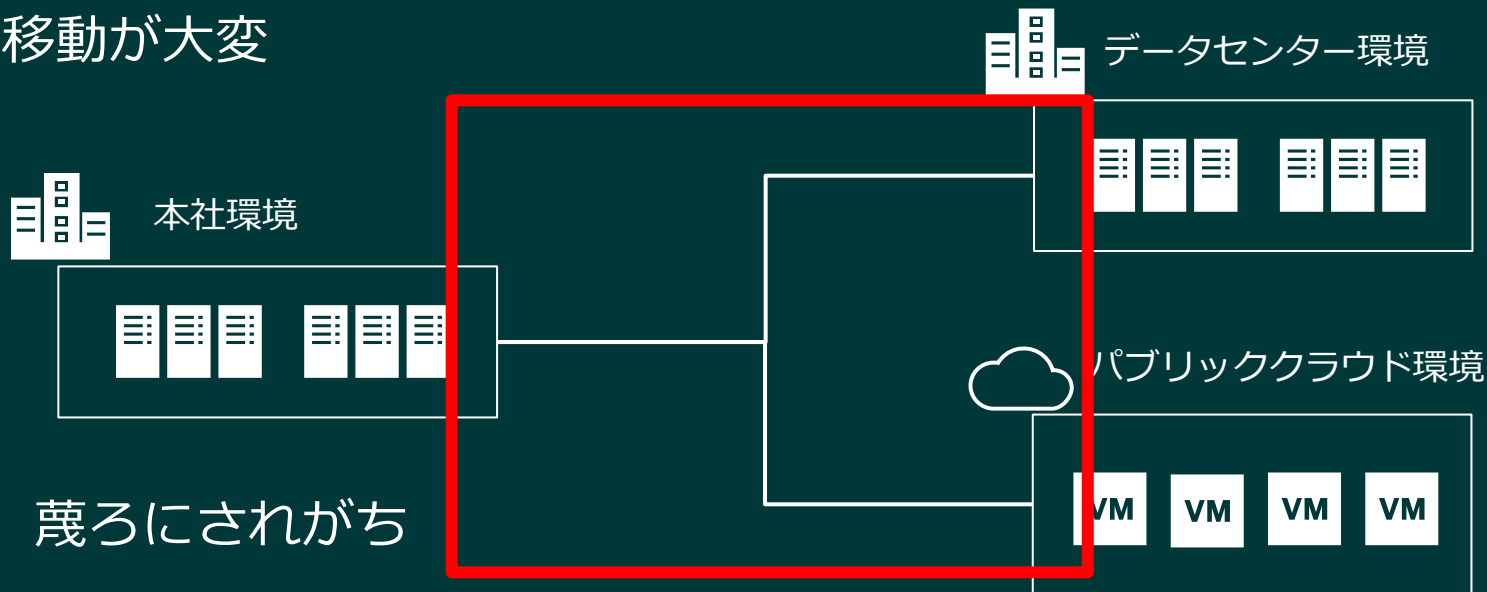
**必要なロケーションに必要なデータが必要
場合によっては、ホスト、システム全体のマイグレーションが必要**



接続性 を考える

サイトの接続性

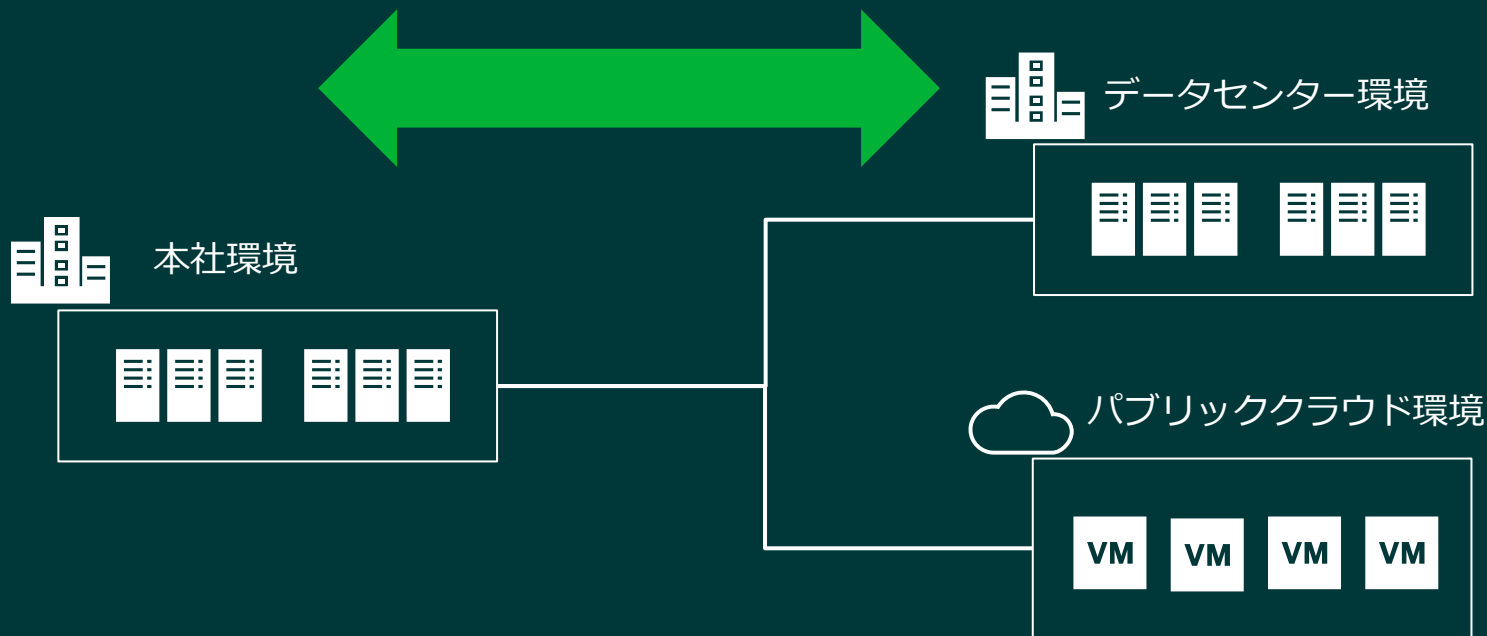
マルチロケーションを考えた場合、
データの移動を考慮したネットワークの配置が重要
データの配置をするのはVeeamを使えばもちろん簡単だが、
肝心の経路が作られていないと
移動が大変



モビリティを考える

サイトの接続性 = モビリティ

行き来がしやすい = 便利？



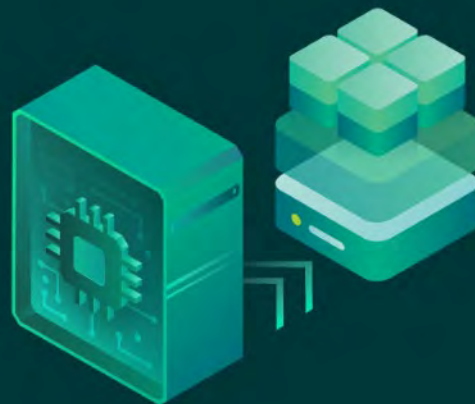
モビリティの目的

なぜデータセンターのマイグレーションをするのか？

- ＞ データセンターにマイグレーションをするのか？
- ＞ パブリッククラウドを使うのか？
- ＞ マイグレーションをしっぱなしでいいのか？

モビリティの目的

ロケーションの意味 vs. マイグレーションの意味



モビリティの目的

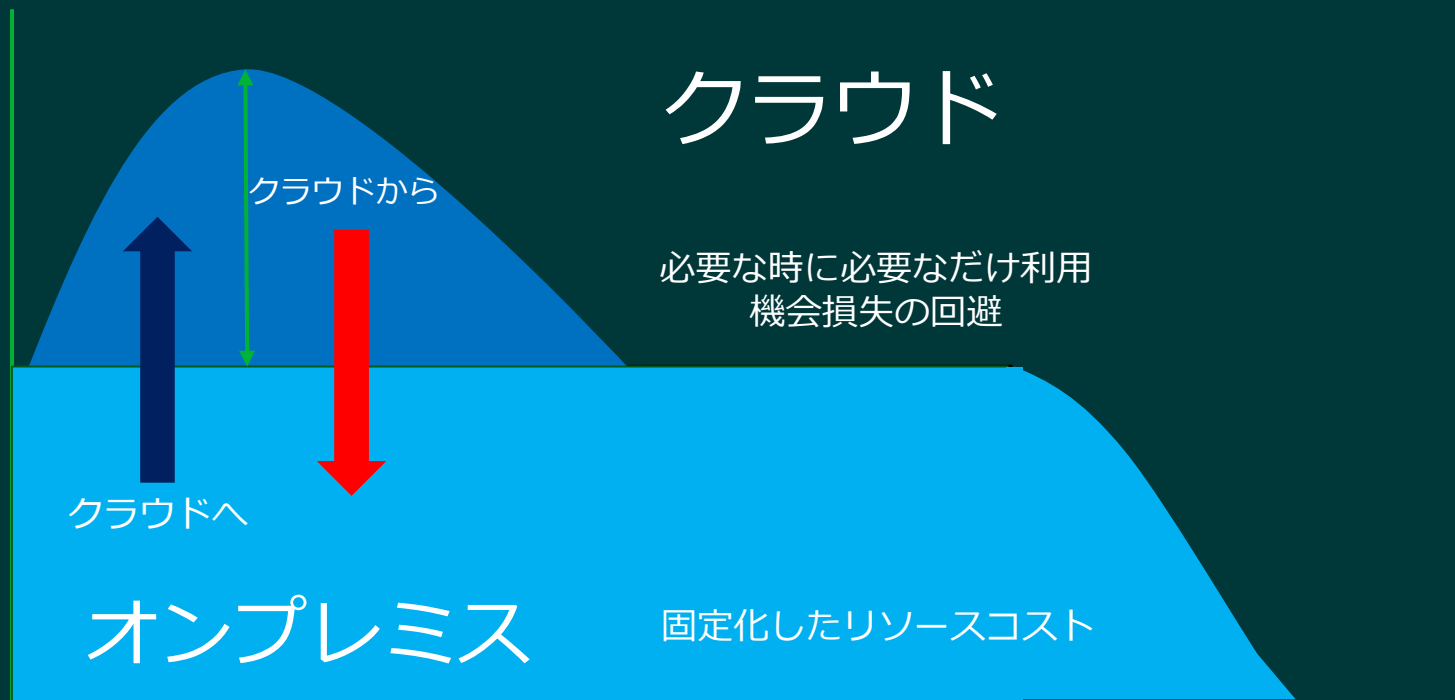
結果として2つの要素の影響が多い

- ＞ コスト
- ＞ サービスの継続性



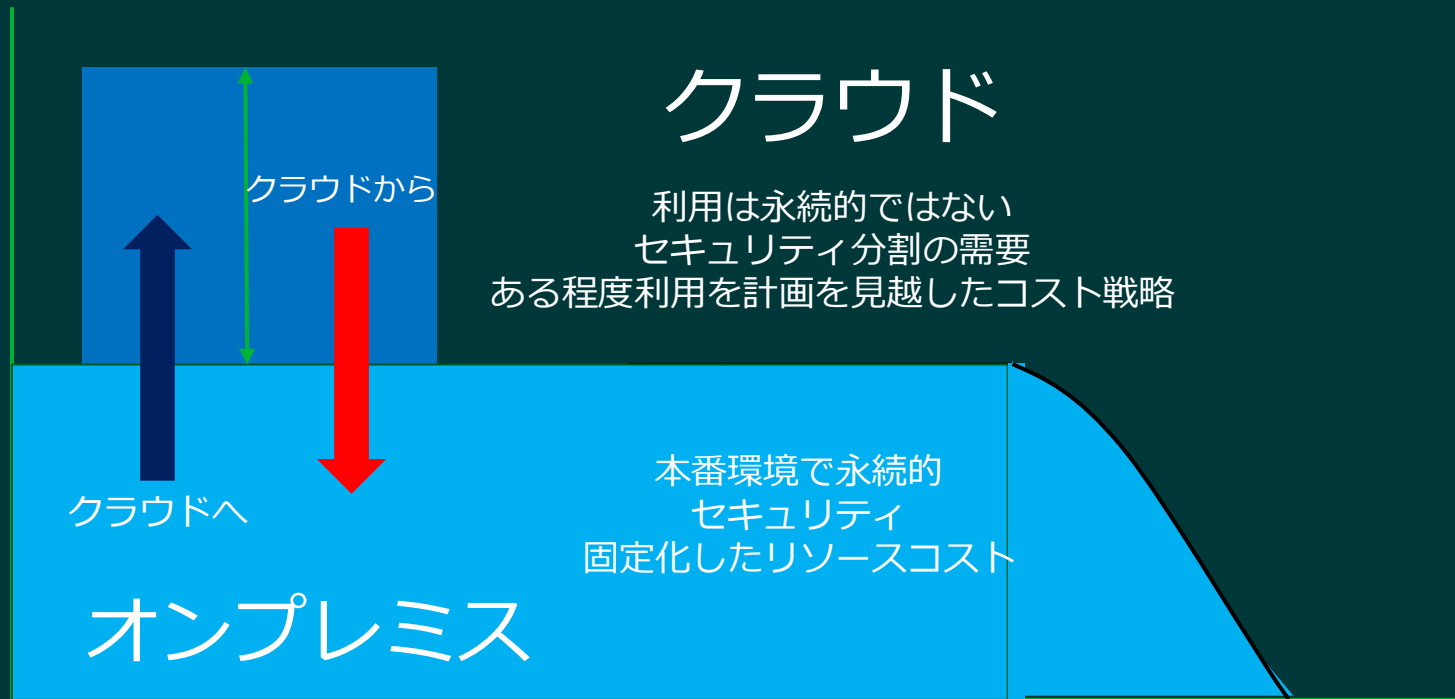
モビリティの目的 – コスト

本番環境



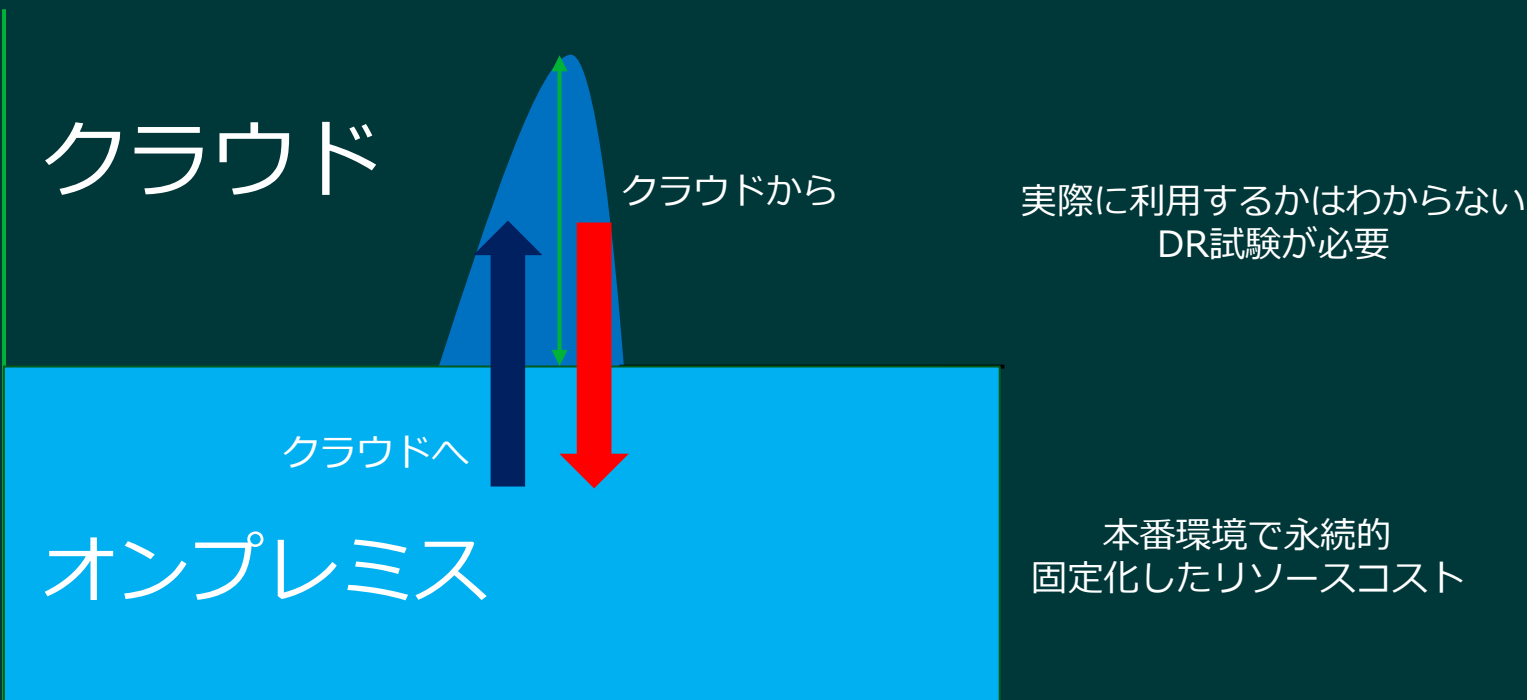
モビリティの目的 - コスト

開発



モビリティの目的 – サービスの継続性

ディザスタリカバリー



モビリティの必要条件

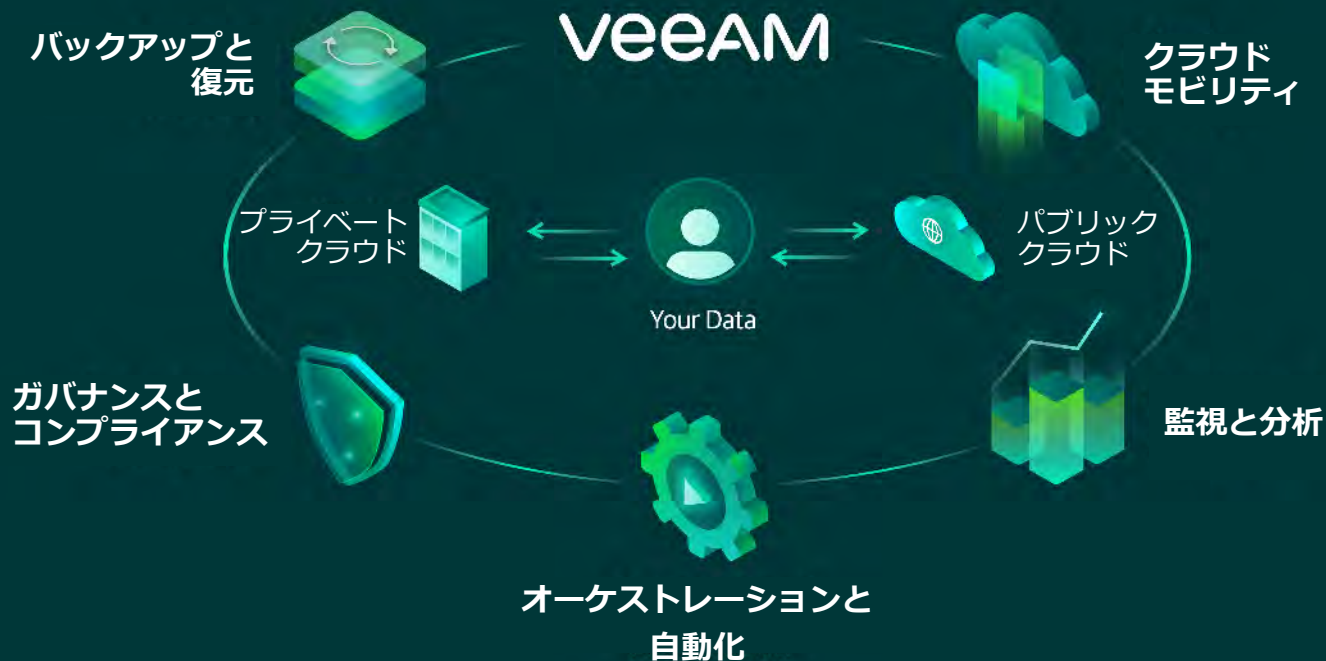
- ＞ 環境
- ＞ 必要性



この2つが揃わないとモビリティの恩恵を受けられない

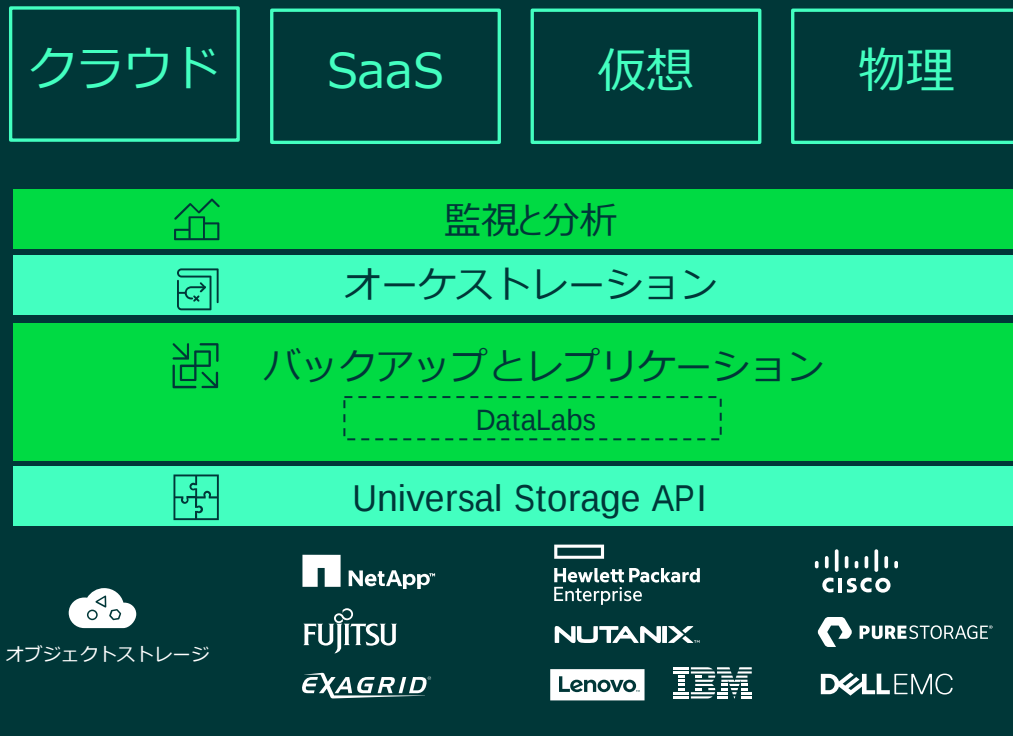
クラウド データ マネジメント

クラウド・データ・マネジメント



最新のデータ保護とマネジメントを実現
データを再利用してデータセンターやクラウドでイノベーションを促進

Veeam クラウドデータマネジメントプラットフォーム



Veeam クラウドデータマネジメントプラットフォーム



バックアップとリカバリ

必要なデータに対して時空を問わず適切にアクセスできる



クラウド モビリティ

クラウドも活用しあらゆるワークロードを保護、利活用できる



監視と分析

データマネジメントを促進する可視化と、改善のための分析ができる



オーケストレーションと自動化

データをアセットとして利活用する仕組みを整えることができる



ガバナンスとコンプライアンス

セキュリティやコンプライアンス、規制に対応できる仕組みを用意できる

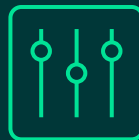
企業にとって**必要不可欠なデータ**を、**場所を問わずに**、**適切なタイミングで**、**適切な人々が**、**シンプルかつコストをかけず**、ガバナンスを維持しながら、アクセスできること

お客様のニーズを解決する



データ・アベイラビリティ

オンプレミスまたはクラウドでのすべてのアプリケーションとデータのシンプルで柔軟で信頼性の高いバックアップとリカバリ



データ・アジリティ

ポータブルデータは、イノベーションの可能性を広げます。データの移動性を制限することなく、必要な環境を活用



ビジネスの加速

データの再利用により効率が向上します。既存のバックアップデータを活用して、コストを増やすことなく新しい機会を追求

クラウドの「外」になぜバックアップが必要か？

出口戦略

マルチクラウド戦略

自身のデータのコントロール

異なるプラットフォームでの検証

1 バックアップ戦略

コスト



Veeamが提供する解

Veeam Availability Suite

数字で見るVeeam



10.6億ドル
2019年の売上高



82%

Veeamを使用する
Fortune500企業



160

拠点のある国

従業員は世界中に
4200名以上



37万5000社以上

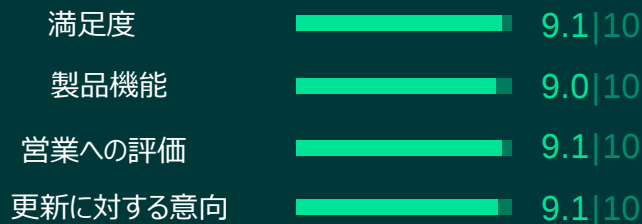
顧客数（12年連続で
成長を達成）



100%

チャネルパートナーを
介した販売

業界平均の3.5倍の顧客満足度



IDC Semi-Annual Software Tracker :

成長実績（データレプリケーション・保護市場）：企業別トップ5（2019年下期）

会社名	連続成長率	前年比成長率	ベンダー収益 (米国ドル、百万単位)
Veeam	+9.8%	+20.5%	478.10
Commvault	+0.1%	-3.0%	324.06
Dell Technologies	+2.9%	+5.1%	779.62
IBM	+6.3%	-0.1%	583.21
Veritas	-1.7%	-2.0%	564.87
その他	+4.5%	+9.0%	2,053.37
市場平均	+3.8%	+5.9%	-

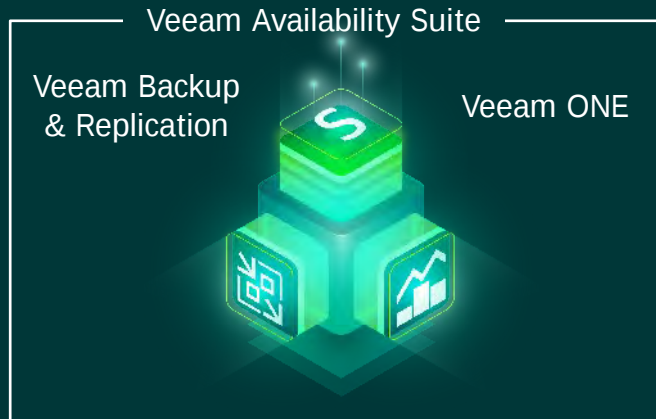
Veeamは前年比の両成長率において以下の区分で最速の収益増加を達成

- ベンダーのトップ5社
- その他のプロバイダー
- 市場全体の平均

出典：IDC、Semi-Annual Software Tracker（2019年下期）

注：全世界でのデータ

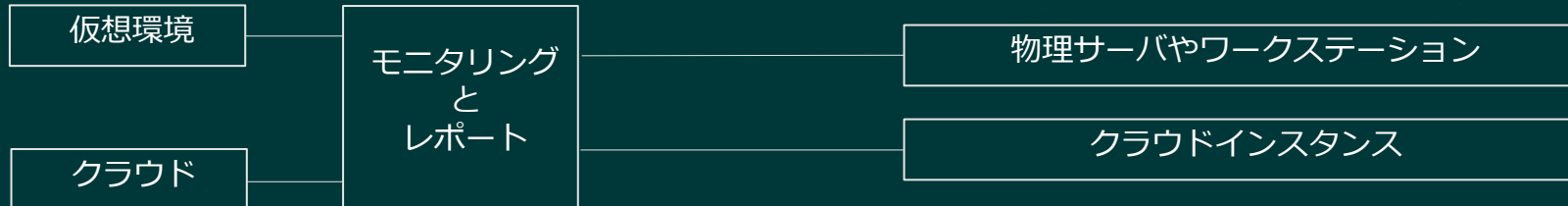
あらゆるアプリケーション、データ、クラウド



Veeam Agent
for Microsoft Windows



Veeam Agent
for Linux



データ損失を軽減

ストレージの支出を削減し、パフォーマンスを向上させながら、バックアップデータを継続的に機能させてデータの整合性を確保



プライマリストレージ連携

新しいプライマリストレージ統合により、運用環境への影響を軽減



Scale-out backup repository

ストレージハードウェアの支出を削減し、バックアップストレージのパフォーマンスと可用性を向上



アプリケーションを認識したバックアップ

SQL Server、Oracle、SAP HANA、Active Directory、SharePoint、Exchangeなどのエンタープライズアプリケーションのアプリケーション理解した処理のサポートを追加



バックアップ、レプリケーション検証

テスト環境を継続的に動作せながら、バックアップ時間を増やすことなく、すべてのバックアップの回復可能性を検証

可用性を維持

計画外のダウンタイムを継続的に削減し、
バックアップデータを簡単に回復および
復元する機能を取得



インスタントVMリカバリ

VM全体を数分で復元し、バックアップファイルから直接実行することで、サービスをすばやく回復



Veeam Explorers

ミッションクリティカルなビジネスアプリケーションとストレージスナップショットの個々のアプリケーションアイテムを簡単に探索、発見、復元



インスタントファイルレベルリカバリ

事前の手順なしで、イメージベースのバックアップから直接ゲストOSのファイルとフォルダーを簡単に復元



Veeam Restore to Azure / AWS

VeeamバックアップをオンデマンドのリカバリサイトとしてMicrosoft AzureとAWS EC2に直接、手頃な価格で高度で高速なリカバリ

管理の合理化

管理の複雑さを軽減し、可視性を高めて、
運用およびビジネスの結果を事前に解決



中央集中コンソール

単一のコンソールを使用して、場所に関係なく仮想、パブリッククラウド、エージェントベースのバックアップおよび復元タスクを簡単に管理



モニタリング監視エージェント

プロアクティブな監視とレポートにより、バックアップ管理の複雑さを軽減し、仮想、パブリッククラウド、物理の全てのバックアップを管理する時間を節約



バックアップコンプライアンスレポート

新しいデータ管理とコンプライアンスレポートでリスクを軽減



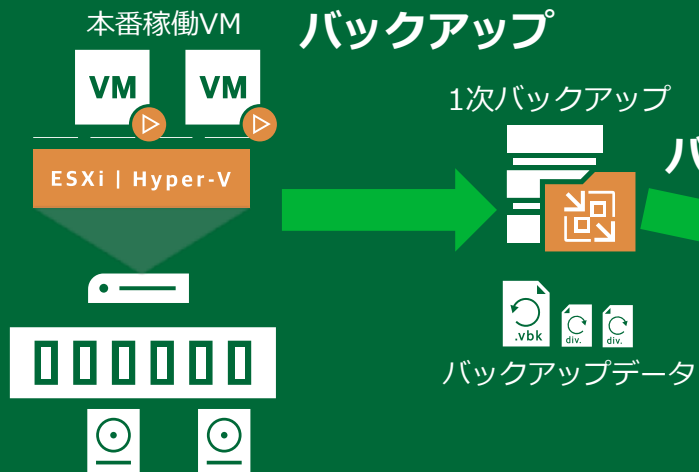
ビジネス・テクニカルビュー

ニーズと優先順位に基づいてビジネスまたは技術的な観点から提示された仮想インフラストラクチャ全体に対する目的に基づいたビューを提供

DRの ユースケース

本番サイト

バックアップを有効的に活用



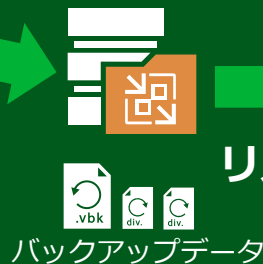
DRサイト

コストや要件に応じた
様々な手段

レプリケーション

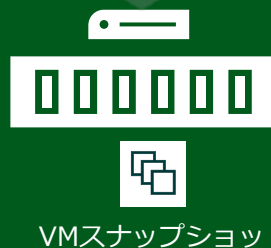
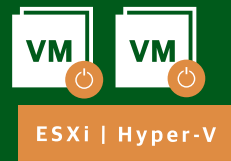
障害が発生したら
フェイルオーバー

DRバックアップ



RTO短い・コスト大

レプリケーションVM



障害が発生したら
リストア



RTO長い・コスト小

DRの ユースケース

本番サイト



Veeam ONE
事前のアセスメント

本番稼働VM



ESXi | Hyper-V

バックアップ

1次バックアップ



バックアップコピー



バックアップデータ

DRサイト



Veeam Availability Orchestrator
フェイルオーバー、リストア
オペレーションの自動手順化

RTO短い・コスト大

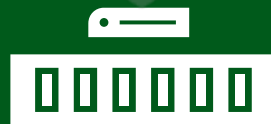
レプリケーションVM



ESXi | Hyper-V

レプリケーション

障害が発生したら
フェイルオーバー



VMスナップショット

DRバックアップ



障害が発生したら
リストア

ESXi | Hyper-V

リストア

バックアップデータ

RTO長い・コスト小

DRの ユースケース

本番サイト



Veeam ONE

運用フェーズにおいての
レポート、監視アセスメント

DRサイト

RTO短い・コスト大



Veeam Availability Orchestrator

フェイルオーバー、リストア
オペレーションの自動手順化

Veeam クラウドデータマネジメントプラットフォーム



バックアップ と リカバリ

必要なデータに対して時空を問わず適切にアクセスできる



クラウド モビリティ

クラウドも活用しあらゆるワークロードを保護、利活用できる



監視 と 分析

データマネジメントを促進する可視化と、改善のための分析ができる



オーケストレーション と 自動化

データをアセットとして利活用する仕組みを整えることができる



ガバナンス と コンプライアンス

セキュリティやコンプライアンス、規制に対応できる仕組みを用意できる

企業にとって**必要不可欠なデータ**を、**場所を問わずに**、**適切なタイミングで**、**適切な人々が**、**シンプルかつコストをかけず**、ガバナンスを維持しながら、アクセスできること

ご清聴
ありがとうございました

veeAM